



2.4GHz Wi-Fi FPV & ALTITUDE HOLD

LIVE CAM DRONE

Assembly Kit



www.gforce-hobby.jp

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート：03-6206-0059

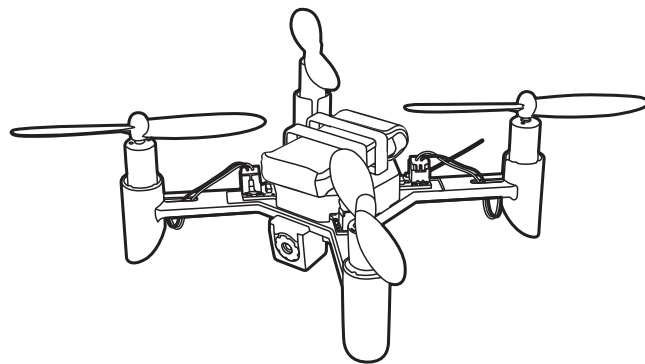
電話受付：月曜日～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

受付時間：10:30～12:00, 13:30～16:30

（弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承ください）

< 随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照ください >

www.gforce-hobby.jp



輸入販売元：株式会社ジーフォース
〒101-0044 東京都千代田区錦糸町1-3-1 マレ神田ビル9階

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます
Copyright © 2017 G FORCE, Inc. All Rights Reserved



INSTRUCTION MANUAL

ライブカムドローン・アッセンブリーキット 共通 組立説明書

Ver 1.00

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

警告

保護者の方へ

当製品は小さな部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3歳未満のお子様に触れないようご注意ください。

注意

ここに記載されている注意事項は、製品を安全にお使い頂き、損害や危害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- 当製品はおもちゃではありません。14歳以下のお子様で使用させないでください。また、お子様の手の届く場所に保管しないでください。
- 対象年齢未満のお様がいらっしゃる場所で使用しないでください。
- 当製品は屋内でのフライトを推奨します。屋外では風の影響が強くなり正常にフライトできない恐れがあります。
- 飛行に慣れるまでは室内の広い場所での練習をお奨めします。室内であつてもエアコンや換気扇の影響を受けやす。風の流れない状態がフライトしやすくなります。
- 屋外でのフライトは高圧線・公共施設・空港・道路・線路が近くにある場所では、絶対にしないでください。まわりに入っている場所、建物がある場所で絶対にフライトさせないでください。
- ローター（プロペラ）は高速回転しますので大変危険です。飛行中は人の顔や手に接触しないように十分注意して安全に飛行させてください。特に目にご当たると失明の恐れがあります。
- 水や火の中に入れて、分解しないでください。
- 火の近くや高温多湿の場所で使用したり、充電・保管しないでください。
- フライト前に必ずプロペラの状態と、各部に異常が無いかを点検してください。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び大変危険です。フライト後も必ず部品に破損や脱落が無いかを確認してください。
- フライト後は速やかに機体からLiPoバッテリーを取り外してください。保管中はお子様に触れさせないように注意してください。
- 送信機に使用する単三電池はアルカリ乾電池を使用してください。それ以外の充電式電池やマンガン電池は使用しないでください。電圧が異なるため、正常に使用できない場合があります。
- 単三電池は古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 単三電池の+（プラス）、-（マイナス）を正しくセットしてください。
- しばらく遊ばないときは送信機の単三電池は外して保管してください。
- 万一、単三電池から液が漏れ、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談してください。衣服、皮ふに付いたときは水で洗ってください。
- 当製品はLiPoバッテリーを使用しています。この電池はその特性から、取扱いを誤ると発火等の危険な事態を引き起こす恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみください。
- LiPoバッテリーは純正充電器でのみ充電可能です。それ以外の充電器は絶対に使用しないでください。
- 当製品（機体本体・送信機・充電器）を改造しないでください。また、専用パーツ以外をご使用になった場合、正常にフライトできないばかりか思わぬ事故に繋がる恐れがあります。十分ご注意ください。
- 当製品を高温となる自動車内や直射日光が当たる場所に放置しないでください。
- 当製品の受信機・送信機は精密機器です。水に濡らしたり湿気が多いところに放置しないでください。
- ローター（プロペラ）には向きがあります。交換する際は説明書を参照して正しく取り付けてください。正しく取り付けないと正常に飛行できません。

2. 【重要】LiPoバッテリーについて



当製品が採用しているLiPoバッテリーは小型で高性能ですが、取扱いを誤ると大変危険です。火災や重大な事故を引き起こす恐れがあります。

当説明書を良くお読み頂き、正しい知識を得た上で慎重にお取扱ひ頂けますようお願いいたします。

1. 取扱上の重要事項

- LiPoバッテリーは比較的新しい規格のバッテリーです。正しい知識を得た上でご使用頂く必要があります。必ずこの注意事項をお守り頂き、正しく安全にご使用ください。
- 充電に際し、過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- 充電は必ず付属の専用充電器をご使用ください。
- 機体で使用する状態でのみ充電してください。それ以外の充電はしないでください。
- 当製品は模型用充電式リチウムポリマー電池であり、他の用途には使用できません。
- 変形や臭い、変色等の異常がある場合は使用しないでください。
- 電池を絶対に分解・改造しないでください。
- 過放電してしまった場合はご使用頂くことができません。放電過ぎないようにご注意ください。また、軽い過放電を繰り返した場合もバッテリーが次第に働いていき、充電・放電時間が極端に短くなり、使用できなくなります。
- LiPoバッテリーは消耗品です。交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- 充電中は目を離さず、異常事態が起きた場合は速やかにUSBケーブルを外して充電を中止してください。
- 万一充電中にバッテリーが膨れ始めたらバッテリーが異常に過熱している恐れがあります。絶対にバッテリーに触らず、USBケーブルを外して充電を中止してください。充電し続ける恐れがあります。USBケーブルを外して充電器にバッテリーを差し込んだまま安全な場所で様子を見てください。
- リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電が可能です。
- 充電完了後は速やかに充電ケーブルを抜いてください。USB充電器に差したまま放置すると過放電となり、バッテリーが使用できなくなる恐れがあります。十分注意してください。

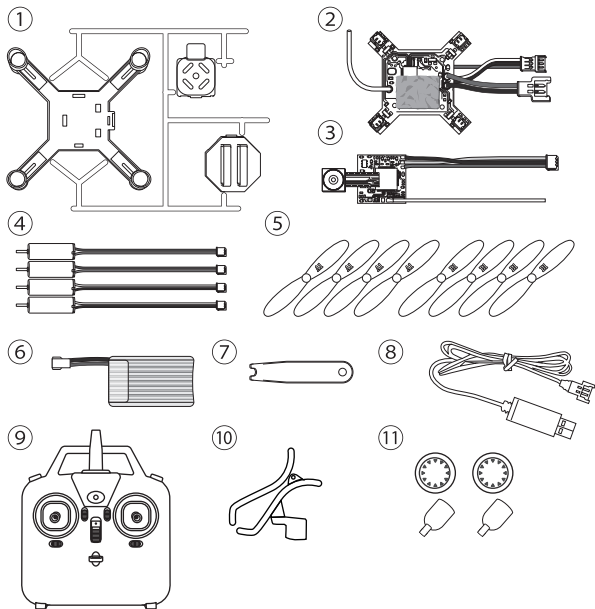
3. フライト中の注意

- 墜落・衝突などの際、バッテリーが強い衝撃を受けると膨張したり発火する恐れがあります。可燃物を離れた場所ではばらばらに置いて、安全であることを確認してください。

4. 電池を保管・保存する場合の注意

- LiPoバッテリーの保管可能温度は-10~45℃前後です。性能の劣化を防ぐには25℃前後が最適です。
- 自動車内や室内の窓際など、直射日光の当たる場所に放置するとバッテリーが高温となり、自然発火する恐れがあります。そのような場所での保管はお止めください。
- 2週間以上ご使用頂かずに保管する場合は満充電後2程度度フライトさせ、バッテリー容量が50~70%程度に達してから保管するようしてください。

3. 内容物



<スタンダード版>

- ① フレームランナー
- ② 受信機ユニット
- ③ カメラユニット
- ④ モーター4個 (赤青x2、白黒 x2)
- ⑤ プロペラ8枚 (A x4、B x4)
- ⑥ Li-Poバッテリー
- ⑦ プロペラ交換用レンズ
- ⑧ 充電用USBケーブル

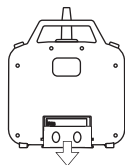
<デラックス版>

- スタンダード版の①～⑧に加えて
- ⑨ 2.4GHz 送信機
 - ⑩ スマートフォンホルダー
 - ⑪ スティックヘッド 2種

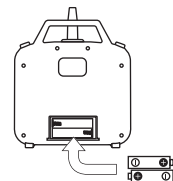
4. 送信機の準備とLiPoバッテリーの充電

送信機に電池をセットする(デラックス版のみ)

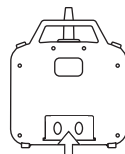
送信機は単三乾電池2本(別売)が必要です。下図に従って正しい向きでセットします。



裏ぶたのカバーを外します。



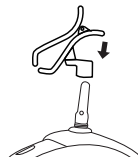
単三乾電池を図のようにセットします。極性(プラス、マイナス)の向きにご注意下さい。



カバーをしっかりと閉じます。

スマートフォンホルダーの取付(デラックス版のみ)

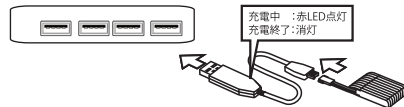
送信機のアンテナ部の上から差し込んで下さい。
毎回、スマートフォン取り付け後は、ホルダー各部に異常がないか、しっかりと装着されているかなど確認を行ってからフライトをお願いします。
本製品の使用によって生じたいかなる損失、損害に関して弊社は一切責任を負いません。



LiPoバッテリーの充電方法

フライトする前に必ずLiPoバッテリーを充電します。

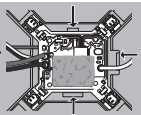
1. 機体からバッテリーを取り出します
2. バッテリーとUSB充電ケーブルを繋ぎます
3. 充電ケーブルのUSB端子を、USB出力を持つ機器のUSBポートに挿します。
4. 充電中は赤LEDが点灯、消灯に変われば充電完了です。
充電後はバッテリーを充電器から外して下さい。



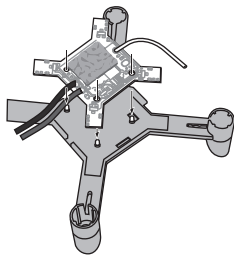
5. 機体の組立て

1. 受信機ユニットの取付

基盤の向きとフレームの向きを確認する



基盤上のスポンジは外さないで下さい

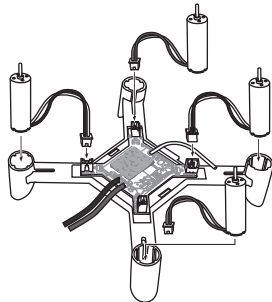


2. モーターの取付

モーターのコネクタと、受信機のコネクタの色を合わせます



モーターの線はスリットに逃し裏でまとめてます

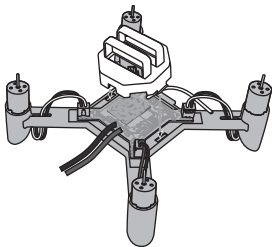


3. バッテリーホルダーの取付

ホルダーの爪とフレームの取り付け穴の大きさを合わせます

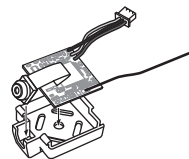
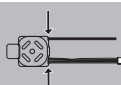


アンテナ線は挟み込まないよう、折り畳んでホルダーの中に収納します。



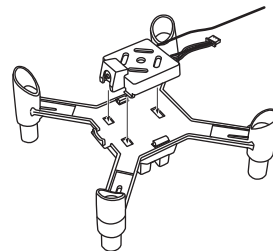
4. カメラユニットの組立

コードはスリットに逃しフレームと挟み込まないようにします



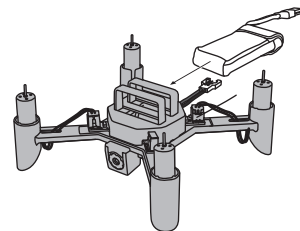
5. カメラユニットの取付

受信機のコードとカメラユニットのコードを繋ぎます



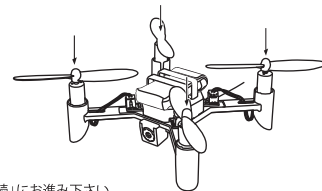
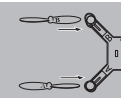
6. バッテリーの取付

バッテリーは機体を飛ばす時のみケーブルを接続して下さい。それ以外の時は必ず外しておきます



7. プロペラの取付

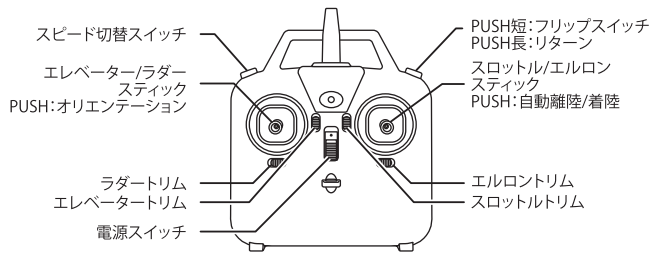
フレームとプロペラに刻印されている“A”、“B”を合わせて取付けます



完成です。

スタンダード版の方は P10「スマートフォンとの接続」にお進み下さい。

6. 送信機の各部名称



7. フライトの準備

7.1 バインド(ペアリング)

フライトを始めるには、毎回機体と送信機をリンクさせる必要があります。以下の手順に従い、正しくバインドを行ってください。

1. 送信機の電源を入れます。
2. 機体にLiPoバッテリーを接続し、水平な場所に置きます。
3. 送信機のスロットル(右スティック)を一番上に上げ、すぐに一番下に下げます。機体のLEDが点灯に変われば準備完了です。

7.2 離陸と着陸

本機体は離陸と着陸を自動で行うことができます。

自動離陸: バインドが完了した状態で[スロットルスティック]を1回押すとある程度の高さまで上昇し、ホバリングを行います。

自動着陸: 空中で[スロットルスティック]1回を押します。

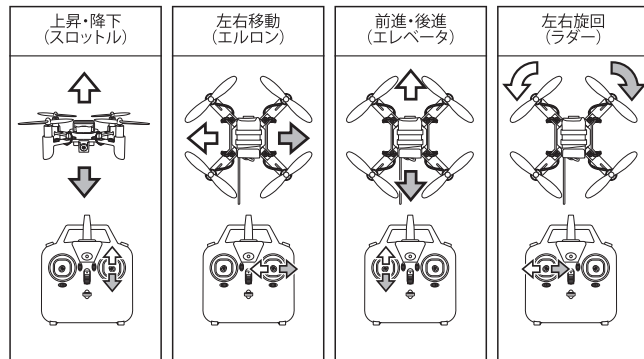
徐々に降下しますので、舵を切りながら任意の場所に誘導して下さい。地面に設置後、停止するまで数回バウンドする事もありますので、完全に停止するまで目を離さないで下さい。

手動操作: 両スティックを「ハ」字で保持するとモーターがアイドリングを始めます。その状態でスロットルをゆっくり上にあげると上昇を開始します。再度、同操作を行うとモーターの回転が止まります。



- ・バインドを行う前に、機体のバッテリーを充電してください。
- ・フライト中に機体のLEDが点滅したらバッテリーが残り少ないことの合図です。フライトは中止して充電するようにして下さい。
- ・フライトを終えたら必ずバッテリーのコネクタは外してください。

8. 操作方法

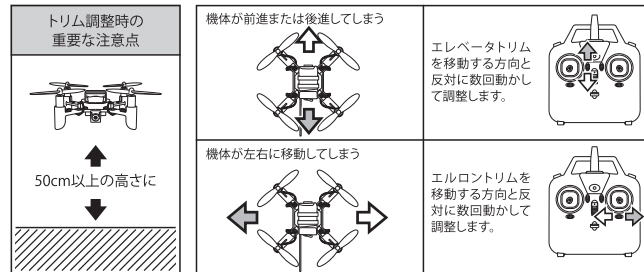


9. トリム調整

機体が上空に上がった際、スティック操作をしていない状態で前後左右に移動してしまうズレをトリムボタンで微調整することができます。

トリム調整は、機体が50cm以上の高さにある状態で調整する必要があります。

地上付近で行っても自身が出す風の影響により正しく調整できませんので、必ず50cm以上の高さで行ってください。

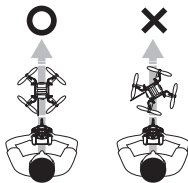


10. 各機能について

オリエンテーションモードとリターンモード

オリエンテーションモード:

地上で、機体と送信機が同じ方向を向き、一直線に並んだ状態でエレベータースティックを1回押して下さい。機体のLEDが点滅になれば有効になっています。再度エレベータースティックを押すとキャンセルすることができます。オリエンテーションモード中は機首がどこを向いてもエルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に、エレベータースティックを前後に動かすと機体は前後に動くようになります。



リターンモード:

オリエンテーションモードが正しく機能した状態でフリップスイッチを長く押すと、機体が操縦者の方向に戻ってくるリターンモードになります。リターン中に舵を操作するとキャンセルできます。

スピードの変更

操縦感度を変更して、より機敏な動きができるようになります。

スピード切替スイッチを1回押す毎に、アラーム音で現在のモードをお知らせします。

スピード切替スイッチ



アラーム音	ビップ……………	: ノーマルモード
	ビップビップ ……	: ミドルスピードモード
	ビップビップ ……	: ハイスピードモード

※初期状態はノーマルモードになります。

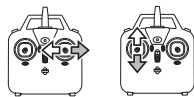
3Dフリップ

フライト中にフリップスイッチを押すと、宙返りをを行います。

フリップスイッチを押すと「ピーッピーッピー…」と断続したアラーム音が鳴り、フリップモードになっている事をお知らせします。この間にスティック操作を行うと自動的に宙返りをを行います。

※アラーム音がなっている時に再度フリップボタンを押すとキャンセルすることができます

※バッテリー残量が少ないときはフリップできません



ジャイロリセット

機体が覚えている水平状態をリセットします。

フライトができる状態で水平な場所に起き、送信機の[左スティックを右下]、[右スティックを左下]に倒し、2秒間ほど保持します。機体のLEDが点滅し、点灯が変わればリセット完了です。



11. スマートフォンとの接続

【1. アプリのインストール】

お手持ちの機器に専用アプリ「DroneKit」をインストールします。

下記のQRコードから、またはAppStore、GooglePlayから「DroneKit」を検索し、ダウンロードとインストールを行って下さい。



GET IT ON
Google play



DroneKit

互換性:iOS 6.0以降
Android要件:2.2以上



Available on the
App Store

【2. Wi-Fi接続】

2-1. 機体の電源を入れ、水平な場所に置きます。

2-2. 接続する機器のWi-Fi設定に入ります。

2-3. 新しく検出したアクセスポイント [DroneKit-文字列] に接続して下さい。

【3. アプリの起動】

3-1. インストールした [DroneKit] アプリを起動します。

3-2. 初期画面の任意の場所をタップします。

3-3. 操作画面に映像が出ていれば接続は完了です。(出るまで数秒かかる場合もあります)



初期画面



操作画面



付属のスマートフォンホルダーを使用する際は、スマートフォン取り付け後、ホルダー各部に異常がないか、しっかりと装着されているかなど確認を行ってからフライトをお願いします。本製品の使用によって生じるいかなる損失、損害に関して弊社は一切責任を負いません。

12. アプリの操作方法



※ 2017年3月時点での解説になります。以降バージョンアップなどにより文言や操作方法が変わる可能性があります。
 ※ 初めて使用される場合は、プロペラを外した状態で動作確認を行い、使用方法を良く理解してからご使用下さい。



- ① 初期画面に戻る
- ② 写真撮影
タップすると静止画が撮影できます。
- ③ 動画撮影
タップで録画開始、もう一度タップすると録画が終了し保存されます。
- ④ 撮影データ再生
- ⑤ 操作感度設定
操作感度(スピード)を設定します。
- ⑥ 自動離陸/着陸機能のON/OFF
常にON(黄色)の状態にして下さい。
- ⑦ チルト操作モードのON/OFF
スマホを傾けて操作するモードを有効にします。
- ⑧ バーチャルスティックの表示/非表示
- ⑨ オプション(⑪⑫⑬⑭)の表示
- ⑩ エレベータートリム
- ⑪ 画面の上下反転
- ⑫ 本製品では使用しません
- ⑬ 本製品では使用しません
- ⑭ 本製品では使用しません
- ⑮ 自動離陸
- ⑯ ラダートリム
- ⑰ 緊急停止
本機は「緊急停止スティックを下げてプロペラの動きはすぐには止まりません。
緊急時は【緊急停止ボタン】ですぐにプロペラの動きを止めて下さい
- ⑱ エルロントリム
- ⑲ 自動着陸

13. タッチ操作方法

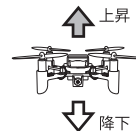
【準備】

1. 機体の電源を入れます。(デラックス版の方、送信機の電源は入れません)
2. P10.の内容に従いスマートフォンと接続を行って下さい。
3. P11.⑧のアイコンをタップしバーチャルスティックを表示させます。

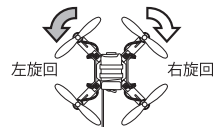
【操作方法】

1. P11.【⑩自動離陸】をタップすると、ある程度の高度まで自動的に上昇します。
2. 基本的には送信機の操作方法と同じです。画面に表示されたバーチャルスティックの青丸を送信機スティックの先端に見立て、これを指で動かして操作して下さい。
3. 空中で、P11.【⑩自動着陸】を押します。
徐々に降下してきますので、舵を切りながら任意の場所に誘導して下さい。
地面に設置後、停止するまで数回バウンドする事もありますので、完全に停止するまで目を離さないで下さい。

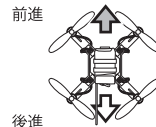
(画面はMODE1)
 スロットル操作
 【上昇・降下】



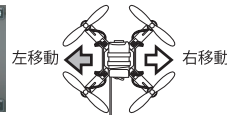
ラダー操作
 【左・右旋回】



エレベーター操作
 【前進・後進】



エルロン操作
 【左・右移動】



14. チルト(傾き) 操作方法

【準備】

1. 機体の電源を入れます。(デラックス版の方、送信機の電源は入れません)
2. P10. の内容に従いスマートフォンと接続を行って下さい。
3. P11. ⑧のアイコンをタップしバーチャルスティックを表示させます。
4. P11. ⑦のアイコンをタップし、有効(黄色)にします。

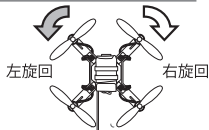
【操作方法】

1. P11.[⑨自動離陸]をタップすると、ある程度の高度まで自動的に上昇します。
2. 前進後進、左右スライド：この2つの動きがスマートフォンの傾きと連動します。
 上昇下降、左右旋回：この2つは操作パネルのタッチ操作で行って下さい。
3. 空中で、P11.[⑩自動着陸]を押します。
 徐々に降下してきますので、舵を切りながら任意の場所に誘導して下さい。
 地面に設置後、停止するまで数回バウンドする事もありますので、完全に停止するまで目を離さないで下さい。

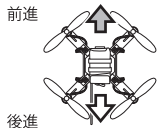
(画面はMODE1)
 スロットル操作
 【上昇・降下】



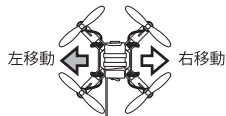
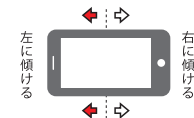
ラダー操作
 【左・右旋回】



エレベーター操作
 【前進・後進】



エルロン操作
 【左・右移動】



15. 製品サポートについて

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものがが必要です。購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。初期不良品につきましてはお手数ではございますが、弊社へお送り頂く前に事前に電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

※税込定価の60% (送料・代引手数料別)

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送りください。欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート：03-6206-0059

電話受付：月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間：10:30～12:00, 13:30～16:30

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承ください)

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照ください>

www.gforce-hobby.jp

輸入販売元：株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 マレ神田ビル9階

ご購入メモ

ご購入日： 年 月 日

ご購入店舗名： _____